

ほけんたがかり 7月

令和2年7月1日 あいあい浜寺中央こども園

梅雨が明ければ、いよいよ夏がやってきます。急に暑さの厳しくなる時期は、体調を崩しやすくなります。日差しが強い・風が弱い・湿度が高い日は特に気をつけましょう。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、今年のプール遊びは中止です。健康と安全を第一に考え、今年は水遊びに変更して実施します。



水遊びのある日は、念入りに健康観察をしましょう。



- *熱はありませんか？ *咳をしたり、鼻水が多かったりしていませんか？
- *おなかを痛がったり、下痢や便がゆるかったりしていませんか？
- *結膜炎や中耳炎など、目や耳の病気ではありませんか？
- *普段と様子が違うなど、病気にかかっている様子はありますか？

※健康状態が思わしくない時は、登園を控え自宅療養しましょう。37.5℃以上の発熱があった場合も、登園を控えてください。解熱後24時間以上経過してから、登園してください。風邪症状で治療中の場合も、症状が改善してから登園してください。

熱中症に気をつけましょう

乳幼児期は、大人より新陳代謝が活発で体温が高いのが特徴です。しかし汗腺の発達が未熟なため、うまく体温調節することができません。

暑さを避けましょう 涼しい服装 エアコンを利用する等部屋の温度調節を
適宜マスクをはずしましょう 気温・湿度の高い中でのマスクの着用は要注意です。

人との距離を確保できる場合マスクを適宜外しましょう。

※2歳未満の子どものマスクは危険です。窒息のリスクや、熱がこもって熱中症のリスクが高くなるので使用するはやめましょう。

こまめに水分補給をしましょう のどが渇いてなくても水分は取るようにしましょう。

長時間の外出は控える 子どもの背丈では、大人より+3度高い温度の環境にいます。日よけつきのベビーカーでも照り返しの熱からは逃げられません。子どもを乗せたまま長時間、日なたに居るのは避けましょう。



夏のやけどに注意しましょう

日差しに熱せられた遊具やアスファルトは、人の体温よりもはるかに熱くなっています。公園などで遊ぶときは、気をつけるようにしましょう。



バランスの良い食事で熱中症に負けないようにしましょう。

手洗いを丁寧に行い、感染症を予防しましょう。指先、指の間、手首など洗い残しのないよう念入りに洗いましょう。



今月の保健行事

- *乳児身体測定(0~2歳児)・・・20日(月)
- *幼児身体測定(3~5歳児)・・・21日(火)
- *尿検査幼児クラス(3~5歳児)のみ実施・・・
21日(火)・22日(水)事前にお手紙及び検査容器を配布します。
- *聴力検査(3~5歳児)・・・事前にお手紙配布します

6月感染症発生状況

- *突発性発疹症・・・1名
- *とびひ・・・2名

